

基本構想 施策の大綱(たたき台)に係るご意見ご提案に対する事務局案

| | 内容区分 | ご意見・ご提案の内容 | ご提案・ご意見に対する考え方 |
|---|-----------|---|--|
| 1 | まちづくりの方向性 | 「地域コミュニティの希薄化が進行する中において、・・・」という文章の流れはおかしい。マイナスの表現ではなく、「コミュニティを醸成しながら・・・」などのプラスの表現にした方がよい。 | 「社会環境の急速な変化に伴い、価値観やライフスタイルが多様化し、地域コミュニティの重要性が高まる中において」としたい。 |
| 2 | まちづくりの方向性 | 市が向かおうとしている表現がないといけない。 | |
| 3 | まちづくりの方向性 | 日本語で表記できるものはできるだけ誰にでも理解できるような表現にした方がよいので、「ライフスタイル・・・進行する」を「生活様式や地域社会の多様化が進行する」にする。 | 「生活様式」より「ライフスタイル」の方が、対象を広く捉えることができ、また、一般的に使用されている表現であると考えため、現状のままとしたい。 |
| 4 | 施策の視点 | 「学ぶ」と「創る」は全く別である。今、長野市に欠けているのは「創る」ということなので、施策の視点の1点目に、「ともに学ぶ」ということと「文化芸術」を並列に入れたらどうか。「市民文化の創造のための環境の整備」「市民の文化活動のための環境の整備」といった表現を入れてほしい。 | 「だれもが自由に学びあい創造することができる環境の整備」としたい。 |
| 5 | 施策の視点 | 1点目、「生涯にわたって学ぶ」では、息切れしないか。抵抗がある。「いつでもどこでもだれとでも学び創造することができる環境の整備」という表現にしたらどうか。 | |
| 6 | 施策の視点 | 2点目の「人づくり」の前に「豊かな」を追加したらどうか。 | 「いきいきとした豊かな人づくりの推進」としたい。 |
| 7 | 施策の視点 | 3点目の「地域と連携した教育」では、何か不足している文言があるのではないか。 | 「連携と交流による地域の特色を生かした教育や学習の推進」としたい。 |

| | 内容区分 | ご意見・ご提案の内容 | ご提案・ご意見に対する考え方 |
|----|--------------------------|---|---|
| 8 | 9ページ 中項目 1点目 | 10年後を見据えると、今の課題としては少子化ということが大きい。子供達の個性や感性もいいが、子供達が人と関われる力などのニュアンスの表現がほしい。 「コミュニケーション能力」というような表現が入った方がよいのではないか。 | 「コミュニケーション能力」や「意欲」については、「生きる力」に包括して、「個性を伸ばし、心の優しさと豊かな感性、生きる力を育む多様な教育の展開」としたい。 基本構想を支える具体的内容は、基本計画で表現することとし、今後議論していきたい。 |
| 9 | 9ページ 中項目 1点目 | 「心の優しさと豊かな感性を持った生きる力を育む多様な教育の展開」など、もう少し強いものを持っていかないとこれからの時代に対応できないのではないか。 | |
| 10 | 9ページ 中項目 1点目 | 「元気な子ども」というようなイメージのある表現がほしい。力強さ、明るさがあった方がよい。 | |
| 11 | 9ページ 中項目 1点目 | キーワードとしては、「意欲」「感性」「生きる力」という言葉が入ってきていいのではないか。 | |
| 12 | 9ページ 中項目 1点目 | ワークショップの中で出ている表現をもう少し使っていったらよい。 | |
| 13 | 9ページ 中項目 1点目 | 全てを方向性に載せると焦点がボケてしまうので、「生きる力」や「個性」などキーワードになる言葉を入れ、要素の中に、今まで出たような意見を入れていくことが必要ではないか。 | |
| 14 | 9ページ 基本計画要素 下から3点目 | 「魅力と活力あふれる特色ある市立高等学校の整備」を「・・・高等学校の人づくり学校づくり」としたらどうか。 | ソフト・ハードの両面を含めて「整備」という表現を用いているため、現状のままとしたい。 |
| 15 | 10ページ 中タイトル | 「生涯学習社会」という表現からは、カルチャースクールが沢山ある社会というイメージがする。「誰もが学べる姿勢がある社会」というイメージの表現にしたらどうか。 | 「豊かに学びあう社会の形成」としたい。 |
| 16 | 10ページ 中項目 1点目 | 「生涯学習」というと、カルチャーセンター的なものをイメージするが、みんなが学んでいるのがにじみ出てくるような社会を理想としたい。 | 「だれもがいつでも自由に学びあうことができる学びの場や機会の充実による、生涯学習環境づくりの推進」としたい。 |
| 17 | 10ページ 中項目 1点目 | 1点目については、「学ぶことができる環境づくり」というところを「学び合う喜びが感じられる環境づくり」としたらどうか。 | |

| | 内容区分 | ご意見・ご提案の内容 | ご提案・ご意見に対する考え方 |
|----|---------------------------|--|--|
| 18 | 10ページ 中項目 2点目 | 「生涯学習の学びの成果」というとカルチャーセンター的なイメージ。そこで学んで何か技術を持った人が何かしないといけないというイメージが強すぎるので、ちょっと勉強してみようというやさしいイメージを期待したい。 | 「学びの輪の広がりによるいきいきとした地域づくりの促進」としたい。 |
| 19 | 10ページ 中項目 2点目 | 「学びの成果の活用」はカタイ。「生涯学習の学びの喜びをもとにした」などの表現がよいのではないか。 | |
| 20 | 10ページ 基本計画要素 一番下 | 「人的」を「人の輪（和）」にしたらどうか。 | 基本計画を策定する上で生かすこととし、現状のままとしたい。 |
| 21 | 10ページ 中タイトル | 「潤いと感動を伝える」という部分に関しては、今後変更していきたい。 | 事務局案として、以下の2案を提示する。 第5回作業部会で、皆様のご意見をお聞きしながら考えていきたい。 【1案】ゆとりと潤いを感じる多彩な文化の創造と継承 【2案】誇りと愛着を育む多彩な文化の創造と継承 |
| 22 | 10ページ 基本計画要素 4点目 | 「文化教育」を「感性豊かな情緒教育」にしたらどうか。 | 「幼児期からの感性豊かな情緒教育による文化的風土の醸成」としたい。 |
| 23 | 10ページ 基本計画要素 下から2点目 | 最後に「公開」を追加したらどうか。 | 公開については、要素の一番下の活用策に含むものと考えており、現状のままとしたい。 |
| 24 | 11ページ 基本計画要素 1点目 | 『だれもが気軽に「やりたい」とか「好きな」スポーツ・レクリエーションに親しめる機会の充実』といったように、少し追加した方がよいのでは。 | スポーツに取り組む機会は多様にあり、広く捉えた方がよいものとするため、現状のままとし、基本計画策定の中で生かしていきたい。 |
| 25 | 11ページ 基本計画要素 | 健常者を前提としているように感じる。障害者の関係の言葉を入れた方がよいのでは。障害者の話については、教育の分野だけではないと思うがどこかに入れた方がよい。 | 1点目の「だれもが気軽に」を削除し、新たに「障害者スポーツの振興」を追加したい。 また、障害者福祉施策については、福祉作業部会で議論しており、総合計画には盛り込む予定である。 |